

今週の話題：

<77巻、2002年、1号 - 52号までの索引> (WER 参照)

<HIV/AIDS 治療法の地球規模の入手拡大に向けての新しい国際連携>

HIV 治療法入手国際連携 (The International HIV Treatment Access Coalition、ITAC) が、低・中所得国において増え続ける HIV/AIDS 患者への抗レトロウイルス薬供給への努力を応援するために、新たにジュネーブ及びダカールにて2002年12月12日に発足した。

WHO/国連 HIV/AIDS 計画 (UNAIDS) によると、この連携による新しい報告では、低・中所得国の数百万の HIV/AIDS 患者が生命を救う医薬品を入手できない限り、今後数年で死に直面すると発表した。

抗レトロウイルス薬 (antiretroviral、ARV) は、治癒は出来ないものの HIV の複生を阻止し、感染に対する免疫力を高めることができる。1996 年以来、ARV が HIV/AIDS 患者に広く利用できるようになった国では、HIV に関連した疾患や死亡数の劇的な減少が得られている。推定 4,200 万人の HIV/AIDS 患者のうち 95% が低・中所得国に居住しており、また、2002 年の AIDS による死亡者 310 万人のうち 99% 以上を占めている。WHO は、これらの国の約 30 万人の HIV/AIDS 患者のみが ARV を現在使用しているが、これは ARV 必要者の 5% に過ぎないと見積もっている。

ITAC は、現時点で、NGO、寄贈者と政府、HIV/AIDS 患者とその支持者、民間部門、大学あるいは研究施設、さらには ARV 入手を拡大するための国際組織を含む 50 以上のパートナーを連携させている。それには、成果のあがるプログラムを実施するため効果的に情報や技術データを共有すること、確実に薬品を調達するシステムを設立すること、ヘルスワーカーを訓練することが含まれている。ITAC はまた寄付行為を促進、調整し、国の HIV 治療プログラムにより必要な技術支援を提供する事を目指している。これは、ジュネーブの WHO 本部にある事務局で行われる予定である。

ARV はヨーロッパやアメリカ合衆国の何十万人もの患者を救ってきており、発展途上国においても何百万もの患者を救うことができると考えられる。

援助者が更に参加し、より多くの国々が ARV 療法に参加すれば、この試みは、すぐに成功するパイロットプログラム数を増やすはずである。様々な国において政府、援助団体、民間セクター、NGO 等により多くの事がなされているが、一つの村の 50~100 人を治療するのではなく、それぞれの国の何十万人もの患者を治療するには全員が知識と努力を蓄積する必要がある。

この国際連携は、重大な岐路と同時に目標達成の可能性を生み出してきた。最も感染が多い国々では、成人の 3 分の 1 以上が HIV に感染している。ARV 療法を受けている人数は、2002 年にサハラ以南のアフリカにおいて 3 分の 2 近くまで増加したものの、現在、この地域の治療を必要とする 410 万人の HIV/AIDS 患者の 1% のみが ARV 治療を得ているだけである。しかし、アフリカとその他の地域の公的機関を通じてこれらの薬品入手への参加が増えてきている。ボツワナ、コスタリカ、キューバ、ナイジェリア、セネガル、タイが最近意欲的な治療目標を設定した。多くの政府が HIV 関連の薬品や物品の輸入関税を削減した。生命を救う ARV 療法入手を拡大する事は、倫理、政治、経済上、必要不可欠である。これらの薬品を使って人命を救う事は、極貧の環境においてさえ技術的に実行可能である。政治的な意思、資源、社会基盤がこの目的を実現するために必要とされる。

この国際連携についての更なる情報は：<http://www.itacoalition.org> にアクセスし、Chris Powell、information officer、Tel:(+41 22)791 2888、e-mail: powellc@who.int に連絡して下さい。

<感染症に関する WHO ウェブサイト一覧表> (WER 参照)

(河田寿美子、宇佐美眞、高田哲)